

授業科目名	授業科目区分				職名	担当教員	
	現代社会と法	対象学期	対象学年	単位数			授業方法
	-デジタル社会の法律問題-	大学コンソーシアム富山共同授業科目(教養)					教授
英文名		夏期集中	2年	2単位	講義	八坂 徳明・朴木 智司 荒邦 啓介	
授業概要	今日の世の中を「デジタル社会」として説明することについては、ほぼ異論を見ないであろう。AI、ビッグデータ、自動車の自動運転技術、デジタル・トランスフォーメーション (DX) など、「デジタル社会」を特徴づける多くの技術や概念が、日々生まれ、更新されている。この展開は、恐らく人類史において、不可逆的なものであり、常に新たな問題をも提起し続けていくに違いない。そこで本講義では、デジタル社会における法の問題をさまざまな視点からとらえ、考えていくことで、現代社会と法のこれからの探りたい。						
到達目標	「デジタル社会」における法的な問題を多角的に捉え、多様な側面から考察できる力を身につけること。						
実務経験の有無	×	実務経験のある教員等による授業科目の学修成果					
コンピテンシー(行動特性) 「伸ばすことのできる能力」		協調性	傾聴力	創造力	論理的思考力		
			◎	◎	◎		
講義方法	オムニバス方式による講義形式となる。						
授業計画	回数	内容					
	第1回	8月23日(月)2限 サイバー法概論(新潟大学 須川賢洋)					
	第2回	8月23日(月)3限 ドイツ行政法におけるデジタル化、その諸問題(明治大学 植田俊太郎)					
	第3回	8月23日(月)4限 dea ex machinis—デジタル・社会を法哲学的に考える(同上)					
	第4回	8月24日(火)2限 DXの目指すところ—今日より明日もっと幸せに(高岡市役所 布橋みちる)					
	第5回	8月24日(火)3限 「ネットいじめ」と法—現状と法対策(兵庫教育大学 今出和利)					
	第6回	8月24日(火)4限 「ネットいじめ」と法—アメリカにおける法と判例(同上)					
	第7回	8月25日(水)2限 デジタル庁創設で目指すデジタル社会(内閣官房・内閣府 浅岡孝充)					
	第8回	8月25日(水)3限 デジタル社会と個人情報保護法制2000個問題解消(公民一元化)(新潟大学 鈴木正朝)					
	第9回	8月25日(水)4限 個人情報保護法令と3年改正の概要(同上)					
	第10回	8月26日(木)2限 インターネットを通じた誹謗中傷とその救済(兼六法律事務所 森長大貴)					
	第11回	8月26日(木)3限 脳科学とメンタルヘルス(1)(国際電気通信基礎技術研究所 川人光男)					
	第12回	8月26日(木)4限 脳科学とメンタルヘルス(2)(同上)					
	第13回	8月27日(金)2限 インターネット取引と民法(高岡法科大学 渡部朗子)					
	第14回	8月27日(金)3限 新しいけど古いもの—自動運転は誰に責任を求めるか?(甲南大学 橋口祐介)					
	第15回	8月27日(金)4限 硬さと柔らかさ—法はデジタル化されるか?(同上)					
評価方法	講義への参加度(出席率ではない)、レポートにより総合的に評価する。						
使用資料	テキスト	各講義時に資料・レジュメを配付する。					
	参考図書						
受講上の注意	外部からの講師・受講生も多数参加するので、大学生としての誇りを持って参加すること。特に受講態度には注意すること。目に余る受講態度の場合は、以降の受講を認めないこともある。講義終了後、レポート作成を課すので、なるべく講義中のメモ等をとること。						
事前・事後学習(学習課題)	事前						
	事後						
オフィスアワー	授業終了後						
備考	第15回講義終了後、レポート作成を課す。						